

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画		
時 期	1年前期	単 元	実 習	教科名	車両1A
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	基礎自動車工学		発行日
			4級 シアシ		2025年5月22日
総時限	28時限		4級 ボデー		教科
必須時限	28時限		実習ノート		担当
			難波 喜彦 伊丹 秀明		
1. 指導教員の実務経験					
自動車整備士として自動車の定期点検の経験ある教員により定期点検基準に則った指導をする。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 実習授業で車両を取り扱う方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる					
2. ジャッキアップで作業する場合の作業方法、そのときの注意点を学ぶために行う。					
3. タイヤ脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解するために行う。					
4. 日常点検の必要性、作業項目、実施方法を学ぶ					
5. オイルタイヤ脱着、ローテーション作業練習					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
1. お客さまの車両（実習車両）の取り扱い方法を理解する					
2. サークルチェックの意味を理解し、確実に車両のチェックが出来る					
3. 車両ごとに車両保護のカバー類の取り付けが正しく出来る					
4. 車両ごとのジャッキアップポイントを理解し、安全に正しく、確実にジャッキアップ出来る					
5. ホイールの脱着の手順を理解し、安全に正しく、確実に出来る					
6. 各種工具の取り扱い、ボルト、ナットの回し方、締付けトルクを理解し、場所に適した工具が使える					
7. 安全、確実、スピーディな作業姿勢を体感し、身に付ける					
8. 日常点検項目を理解し、正確に作業できるようになる					
9. オイル交換の実施方法を理解し、一人で作業できるようになる					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・実技試験（70点）、学科試験（30点）で評価する。					

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2025年度 授業計画

[illegible]

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画			
時 期	1年前期	単 元	実 習	教科名	車両1B	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	3級 ガソリンテキスト		発行日	2025年5月22日
			3級 シャシテキスト			
総時限 必須時限	28時限 28時限			実習ノート		教科 担当
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造・作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1、配線図の読み方を学ぶ 2、ESMの活用方法、操作を学ぶ 3、始動装置の構造、作動を理解する 4、スターターモータの分解、組みつけができるようになる 5、スターターモータの点検方法を学ぶ						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
1、配線図を読めるようになる。 2、ESMを使用し、配線図の表示ができるようになる 3、始動装置の構成部品、構造を理解。スターターモータの分解組みつけができる 4、スターターモータの良否判定が出来る						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・実技試験、学科試験で実施する。 実技試験（70％）、学科試験（30％）とする。 ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2025年度 授業計画

[illegible]

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画			
時 期	1年後期	単元	実習	教科名	車両1C	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	3級 ショパンテキスト		発行日	2025年5月22日
			3級 ガソリンテキスト			
総時限 必須時限	33時限 33時限		実習ノート	教科 担当	難波 喜彦 伊丹 秀明	
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当 自動車整備士として電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造・作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） 1オルタネーターの 構成部品、構造、作動を学ぶ 2オルタネーターの分解、組み付けができる 3ワイパー装置の構成部品、構造を理解する 4ワイパー装置の電気の流れを理解し、故障探求ができる。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか） 1オルタネーターの 構成部品、構造、作動を学ぶ 2オルタネーターの分解、組み付けができる 3ワイパー装置の構成部品、構造を理解する 4ワイパー装置の電気の流れを理解する。 5ワイパー装置の故障探求ができる。 6ヘッドライト装置の電気の流れを理解する。 7ヘッドライト装置の故障原因探求ができる。 8ウインカー装置の電気の流れを理解する。 9ウインカー装置の故障原因探求ができる。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目） ・実技試験、学科試験で評価する。 実技試験（70％）、学科試験（30％）とする。 ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2025年度 授業計画

時 期	1年後期	単元	実習	教科名	車両1C	
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	実習目標 オルタネータ概要				実習ノート 車体電装品	
2	オルタネータの分解・スケッチ				実習ノート 充電装置	
3	オルタネータ基本構造・整流（各部電流流し磁化することを確認実験）				オルタネーター	1 0
4	オルタネータ基本構造・整流（各部電流流し磁化することを確認実験）				IC式オルタネータ	1 0
5	ステータ、ロータの点検				電導師	1 0
6	ステータ、ロータの点検				ウエス	適量
7	ダイオードの点検方法				バッテリー・ケーブル	1 0
8	オルタネータ単体点検 習熟練習				ワイパーボード	1 0
9	オルタネータ単体点検 習熟練習				灯火装置ボード	1 0
10	オルタネータ実技試験				ワイパーボード	1 0
11	オルタネータ組み立て、IC式オルタネータ分解					
12	IC式オルタネータ回路研究、組み立て					
13	ヘッドライト作動電気の流れ回路図確認					
14	ヘッドライト正常電圧確認（灯火ボードでの確認）					
15	故障診断の実施要領					
16	ヘッドライト故障診断					
17	ヘッドライト故障診断					
18	ヘッドライト故障診断					
19	ヘッドライト故障診断					
20	ワイパー作動電気の流れ回路図確認					
21	ワイパー正常電圧確認（ワイパーボードでの確認）					
22	ワイパー故障診断					
23	ワイパー故障診断					
24	ワイパー故障診断					
25	ターニングナル作動電気の流れ回路図確認。ターニングナル正常電圧確認（ライトボードでの確認）					
26	ターニングナル故障診断					
27	ターニングナル故障診断					
28	ターニングナル故障診断					
29	習熟練習（ヘッドライト・ワイパー・ターニングナル）					
30	習熟練習（ヘッドライト・ワイパー・ターニングナル）					
31	習熟練習（ヘッドライト・ワイパー・ターニングナル）					
32	習熟練習（ヘッドライト・ワイパー・ターニングナル）					
33	実習試験					
34						
35						
36						
37						
38						

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画		
時 期	1年後期	単 元	実 習	教科名	車両1D
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書 3 級ガソリン テキスト		発行日
総時限	31時限				2025年5月22日
必須時限	31時限				
			教科 担当	難波 喜彦 伊丹 秀明	
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車点検整備について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
・12ヶ月点検を確実に行うことができる ・点検機器を正確に取り扱うことができる。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）					
1. 12ヶ月点検を抜けなくできる。 2. 点検時間を意識し手順を考え作業できる。 3. 各所の点検方法が分かる 4. 点検各所の良否の判断ができる 5. 測定機器使用し点検ができる 6. 安全に作業ができる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・実技試験（80％）、学科試験（20％）で評価する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2025年度 授業計画

[illegible]